

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		人間ドック等助成事業		担当課	保険年金課	担当係	国保給付係	管理番号	3122
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市国民健康保険人間ドック等検査料助成要綱				
	小項目	1	健康づくりの推進						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		国民健康保険の被保険者の健康保持のため、国民健康保険の被保険者が人間ドック又は脳ドックを受検するとき、その検査料の一部を1会計年度において1回に限り1万7,500円(令和4年度から3万円)を限度として助成する。							
目的 ※何のために		国民健康保険の被保険者の健康保持のため。							
対象 ※誰・何を対象に		次の全てに該当する者①深谷市国民健康保険の被保険者で資格を取得して1年以上経過している者②満35歳(受検申請当日)以上の者③深谷市国民健康保険税を完納している者							
手段 ※どのように		国民健康保険の被保険者が人間ドック又は脳ドックを受検するとき、その検査料の一部を1会計年度において1回に限り1万7,500円(令和4年度から3万円)を限度として助成する。							
成果 ※何を求めるか		国民健康保険の被保険者の疾病の予防並びに疾病の早期発見及び早期治療による重症化の予防							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
		特別会計	6 保健事業費	2 保健事業費	1 保健衛生普及費	人間ドック等助成事業		14,507,500	
本事業の 主な業務		・人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成	人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成	人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成	人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成	人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成	人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成
事業費	予算(現額)	14,000,000	14,000,000	15,750,000	15,750,000	15,750,000	51,150,000
	決算額	12,722,500	13,562,500	12,842,000	10,062,500	14,507,500	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	5,748,000	6,972,000	4,559,000	7,746,000	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	6,974,500	6,590,500	5,949,000	5,503,500	6,761,500	51,150,000
人件費	従事職員数(人)	0.53	0.77	0.66	1.28	1.43	1.42
	人件費相当試算※	4,122,870	5,992,140	5,349,300	10,388,700	11,099,539	11,587,171
総事業費試算		16,845,370	19,554,640	18,191,300	20,451,200	25,607,039	62,737,171

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	人間ドック及び脳ドック受検者数	目標値	人	800	800	800	800	800	1300	
		実績値		727	775	733	575	829	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			予算額の積算根拠となる受検者数 / 当該年度実績 ※R4は助成額の拡充に伴い増を見込む。						
	実績値の算出式									
成果指標 1	人間ドック受検率	目標値	%	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	5	
		実績値		2.34	2.7	2.77	1.95	3.06	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			予算額の積算根拠となる受検者数/助成対象者 / 受検者数/助成対象者 ※R4は助成額の拡充に伴い増を見込む。						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	・人間ドックや脳ドックを実施する医療機関が増えることが、受検人数や受検率の上昇につながるため、実施医療機関の拡大を図った。 ・コロナ禍ではあったが、目標値を達することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	実施医療機関が増え、受検者数が増加したため、コロナ禍であったが、前年度と比較して受検率が1.5倍になった。
			評価者 国保給付係長 清水 正史

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	国保制度管理システムを導入することにより、内部事務の効率化が図れている。
			評価者 国保給付係長 清水 正史

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	受検開始年齢を35歳から30歳に引き下げて、受検対象者を拡充する。さらに、令和4年度は、助成額の上限額を17,500円から30,000円に増額し、より受検しやすい環境を整える。
達成状況及び その効果	令和4年度から、受検開始年齢を35歳から30歳に引き下げ、助成額の上限額を17,500円から30,000円に増額し、必要な予算措置を講じた。これにより、より受検しやすい環境が整い、受検者数や受検率が上昇することが見込まれる。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	人間ドック等助成事業	担当課	保険年金課	担当係	国保給付係	管理番号	3122
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>対象年齢や助成額を見直した。より受検しやすい環境が整うことで、受検率が向上し、疾病の予防、早期発見・早期治療につながり、被保険者の健康の維持増進が図れるものと期待される。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> <div>保険年金課長 田村 恵</div>					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

